

【追加資料】研修動画 講義Ⅰ「薬物依存の背景と支援」の前半部「薬物依存について」の講義の中の「薬物の種類」で追加となった講義のスライド資料になります。

ODとは

医薬品等の決められた用量を守らずに過剰摂取（過量服薬）すること。

適切な量を超えて摂取すると、薬による様々な副作用が出てきて中には命を脅かす事態になることも。

↓
しかし、あえてその副作用を期待して薬を過剰摂取する行為。

1

精神科医療施設 市販薬を主たる薬物とする依存症患者が急増



(対象は全国の精神科医療施設を受診する薬物関連精神障害患者)

2012年から2020年にかけて約6倍に増加

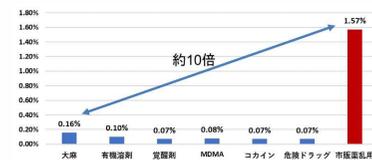
2

「過去1年以内に
市販薬の乱用経験がある」
という高校生…

約60人に1人の割合。

高校生における市販薬乱用の経験率（過去1年間）
大麻の使用率の約10倍

(大麻0.16%、市販薬乱用1.57%、いずれも推計値)



全国の高校生における違法薬物および市販薬乱用の経験率（過去1年間）

薬物使用と生活に関する全国高校生調査2021(国立精神・神経医療研究センター)

※ここでいう乱用目的とは…
ハイになるため、気分を変えるために決められた量や回数を超えて使用すること。

3



4

急性中毒症例死亡例も...



5

相談事例の多い一般医薬品（上位10件）（2017～2021年） ※常用等のおそれのある医薬品（※※：うち、令和5年4月から対象となったもの）

販売名	件数	うち10歳代	薬効分類	成分名
エスエスプロン錠※	139	77 (55%)	鎮咳去痰薬	ジヒドロコデイン、メチルエフェドリン、クロルフェニラミン、カフェイン
バファリンA	86	30 (35%)	解熱鎮痛薬	アスピリン
イブA錠	83	47 (57%)	解熱鎮痛薬	イブプロフェン、カフェイン、アリルイソプロピルアセチル尿素
エスタロンモカ錠	68	27 (40%)	眠気防止薬	カフェイン
レスタミンコーワ糖衣錠	33	20 (61%)	抗ヒスタミン薬	ジフェンヒドラミン塩酸塩
エスタロンモカ12	32	10 (31%)	眠気防止薬	カフェイン
ウット※	26	4 (15%)	催眠鎮静薬	プロモバルレリル尿素、ジフェンヒドラミン塩酸塩、アリルイソプロピルアセチル尿素
ナロンエース※	24	5 (21%)	解熱鎮痛薬	イブプロフェン、エテンザミド、プロモバルレリル尿素、カフェイン
新ルルA錠※※	24	10 (42%)	かぜ薬（内用）	アセトアミノフェン、ジヒドロコデイン、メチルエフェドリン、カフェイン
パブロンゴールドA錠※※	23	9 (39%)	かぜ薬（内用）	アセトアミノフェン、ジヒドロコデイン、メチルエフェドリン、クロルフェニラミン、カフェイン

<厚生労働省HP 第15回 医薬品等行政評価・監視委員会 資料より>

6

6



7